

○青森県森林組合連合会と青森県内素材生産・販売担当者との「山元委託販売打合せ会議」に出席しました。

令和6年12月2日（月）に青森県森林組合連合会の主催で開催された「令和6年度 第2回国有林野産物の山元委託販売打合せ会議」に、青森事務所から2名出席してきました。

当日は打合せ会議と有利採材検討の2部構成となっており、まず青森県森連津軽木材流通センター入札会場において、打合せ会議が行われました。冒頭、青森県森林組合連合会の黒滝代表理事常務から挨拶があり、続いて青森県森林組合連合会の担当者から今年度の木材市況動向について説明がありました。また、各森林管理署の担当者からは委託販売の進捗状況や今後の販売見通しについて情報提供があり、青森事務所からは青森県内での販売の進捗状況や東北森林管理局管内の市況動向等について情報提供し、その後意見交換となりました。春先から引き続き木材市況は厳しい状況が続いているものの、10月に入り虫害等の影響も少なくなり一部で木材の動きがみられてきており、そのような中、会議を通して最新の情勢を踏まえた販売状況について情報共有を図ることができ有意義な意見交換を行うことができました。

後半は同センター土場で、11月29日（金）に開催された「第39回県産優良材展示即売会」の販売結果をもとに、優良広葉樹の有利採材を検討しました。青森県森林組合連合会の担当者から例年と今年の価格差や用途についてお話しただくとともに、欠点や材の良し悪しを評価するポイント、最近の需要状況についても説明いただき意見交換を行いました。針葉樹の木材市況が厳しい状況にある中、国産の優良広葉樹に関しては引き合いが強く、需要が高まっています。今回の有利採材検討では、需要に沿った国産優良広葉樹を供給していくための理解を一層深めることができました。

青森事務所では、今後も国有林材の安定供給や有効な資源活用に貢献していきたいと考えています。



（打合せ会議の様子）



（有利採材検討の様子）